

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	特別支援教育総論					授業形態	講義		
科目コード	750134	単位数	2単位	配当学年	1年	実務経験教員			アクティブ ラーニング
担当教員名	瀬戸口 裕二								
授業概要	<p>本授業の目的は、特別支援教育の理念、「特別なニーズを持つ子ども」をめぐる国際動向、特別支援教育の制度と教育内容に関して基礎的な理解を身につけることができることにある。特殊教育体制から特別支援教育体制へのパラダイムシフトの根拠や必然性について十分に理解することを通して、今後の教育について考え直す機会ともなる。特に、受講生が触れたことの多くない幅広い特別支援教育の現場及び今日的課題について、より実践的な理解を深める。</p> <p>さらに、障害と障害児理解、支援のあり方について理論と実践の両面から学んでいくことにより、インクルーシブ教育への展望を持つ。</p>								
関連する科目	特別支援教育								
授業の進め方 と方法	<p>毎回の授業にて、多様な授業形態を展開します。1回の授業の構成は下記の通りです。</p> <p>授業の前半では、「法的位置づけ」や「学術的な根拠（子どもの発達段階の特徴など）」について講義します。後半では、グループディスカッションや課題解決・指導計画の作成等にて、前半の学びを深めるとともに、自らの考えをレポートやプレゼン等にて表現します。本授業は、質問や協議機会が多様に用意されています。また、授業中に様々な情報を検索したり確かめたりすることが推奨されています。発見された事実や協議された内容については広く共有される機会が保障されています。</p>								
授業計画 【第1回】	ひとの能力を構成する要素								
授業計画 【第2回】	脳機能と能力								
授業計画 【第3回】	認知機能の平均と偏り								
授業計画 【第4回】	知能の定義と発達障害								
授業計画 【第5回】	障害者の置かれてきた状況（古代から中世）								
授業計画 【第6回】	障害者の置かれてきた現状（近世から現代）								
授業計画 【第7回】	近現代の障害者施策の現状								
授業計画 【第8回】	優生保護法と障害者の権利								
授業計画 【第9回】	出生前診断の現状と課題								
授業計画 【第10回】	就労支援・グループホーム								
授業計画 【第11回】	放課後デイサービス等の身近なサービス								

授業計画 【第12回】	障害児教育の実際（通常学級、特別支援学級）
授業計画 【第13回】	障害児教育の実際（知的障害・自閉症）
授業計画 【第14回】	障害児教育の実際（肢体不自由・病弱）
授業計画 【第15回】	障害児教育の実際（視覚障害・聴覚障害）
授業の到達目標	特別支援教育について歴史、基本理念、制度、教育内容、障害児理解と支援のあり方を概括的に理解することを主たる目的とする。 ①特別支援教育の理念と制度を理解する。 ②特別支援学校・特別支援学級における教育課程、教育内容・方法の基本を理解する。 ③障害児理解と支援のあり方の基本を学ぶ。 ④現在の特別支援の到達点と未来像について考える。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外の学修 【予習】	毎回の授業でグループディスカッションや発表などの多様な授業形態を展開します。そのためには、授業以前の準備が求められます（30分程度）。
授業時間外の学修 【復習】	前時の学習のポイントについて、参考書やインターネット情報等を活用して再確認したり、検索された情報を下にして自らの学習を拡大したりする（30分程度）。
課題に対する フィードバック	講義では、それぞれが知識に基づいて予想を立てたり次の論点を整理したりするように、多くの質問や協議機会が与えられる。
評価方法・基準	授業での発言や提出レポートの内容(40%)、および最終試験またはレポート(60%)で総合的に評価する。最終試験においては、事項の暗記よりも、特別支援教育に関する理解の程度や問題意識を評価する。
テキスト	
参考書	
備考	